

## ものづくりと企業経営

教授 富野貴弘

### 1. 研究内容

我々の身の回りには無数の製品が溢れ、毎日のように新製品が次々と発表されています。日ごろ慣れ親しんでいる様々な製品が、企業の中でどのように開発・生産されているのかということについて考えてみたことはありますか？消費者の多岐にわたるニーズに応えるため多様な企業戦略が複雑に絡み合い、市場では激しい競争が繰り広げられています。企業は、ヒット商品を生み出すための組織や戦略を考え、技術を開発し、商品を効率的につくり消費者に素早く届けるための仕組みづくりに日々邁進しています。

資源の乏しいこの国で日本企業は創意工夫を駆使した「ものづくり」を武器に世界と戦い工業立国としての確固たる地位を築いてきました。このゼミでは、ものづくりを行っている企業の活動に注目しながら、日本企業が抱えている問題について多方面から考えていきます。

このゼミの学びのコンセプトは「**自分の手で現実に触れ、自分の頭で考える**」です。ものづくりの現場を目で見て・感じて・実際に何が起きているのかを自ら確認し考えるという姿勢を重視しますので、工場見学や企業訪問、実務家の方との交流などを随時行います。ちなみに、これまで訪問した工場は「キューピーマヨネーズ」「資生堂」「花王」「日本製鉄」「三菱自動車」「トヨタ自動車」「日産自動車」「ホンダ」「明治製菓」「森永製菓」「サントリー」「アサヒビール」「ブリヂストン」「ミロクテクノウッド」「TOTO」「パナソニック」などです。近年は3年生の夏休みを利用して海外（タイ、韓国、ベトナム、中国など）の工場にも足を延ばしています。

### 2. ゼミの進め方

《2年次》

経営学等に関する基本文献の輪読を行い、自分の頭で考える力を養います。春・夏にそれぞれ合宿を実施。

《3年次》

より専門的な文献の輪読、他大学との合同ゼミ（京都で実施）に向けた研究、外部企業との産学連携プロジェクトなど。春・夏にそれぞれ合宿を実施。夏は海外合宿の予定。

《4年次》

3年次に行ったプロジェクトの活動報告書の作成。後輩たちの研究サポート。内定先の企業研究など。夏に合宿を実施。

\*原則、合宿は工場見学とセット。

### 3. 教材

「経営学」「経営戦略」「製品開発」「イノベーション」「技術経営（MOT）」などに関する比較的新しい文献を取り上げる予定。

### 4. 成績評価の方法

ゼミの全ての活動に対する姿勢により総合的に評価します。無断欠席、遅刻厳禁。

### 5. ゼミ入室試験（選考方法）

選考方法につきましては、Oh-o!Meijiにて、後日連絡します。

### 6. その他・志願者へのメッセージなど

僕の好きな言葉に「無用の用」というものがあります。一見すると役に立たないように見えることが、却って大きな力を発揮することがあるという意味です。これこそが、大学で何かを学ぶということの醍醐味の一つです。時間のある学生時代には、近視眼的な損得に捉われず、たくさんの「価値あるムダ」をしてほしいと思います。すぐに役に立つ知識というものは、得てしてすぐに役に立たなくなるものです。